

日本教育大学協会が附属学校連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、附属学校連絡協議会を6月1日（土）、全国国立大学附属学校連盟（以下、学校連盟）との共催により、ホテルブリランテ武蔵野（埼玉県さいたま市）において開催した。

開会の挨拶で出口会長は、「本協議会では、これからの国立大学附属学校を考える上で有意義かつ示唆に富んだ内容を毎年準備している。本日は、有識者会議報告書を踏まえた附属学校改革の促進や次世代の学校教育の在り方、国立教員養成大学・学部等の特色ある好事例や先進的な取組についての施策説明や、附属学校独自の評価指標・評価基準に基づいた自己点検・評価の実施に向けた取組状況についての報告がある。それぞれ今後の改革の参考にしていただきたい。また、大学のファンドレイジングの現状について、講演を行っていただく。外部資金獲得が苦手だと言われている教員養成大学・学部であるが、お互いに知恵を出し合い、財政が厳しいこの事態を乗り越えていきたい。」と述べた。続いて、薄井俊二埼玉大学教育学部長から歓迎の挨拶があった。

協議会の前半には、高田行紀文部科学省総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室長から、附属学校園に関する最近の動向について施策説明があった後、西村公孝国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループ座長（鳴門教育大学副学長）から、日本教育大学協会企画・調査研究委員会国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループの進捗状況について、報告があった。

引き続き、「日本の寄付事情と大学のファンドレイジングの現状、そして今後の展望について」をテーマに、吉田富士江大阪大学ファンドレイジング部門特任専門職員による講演を行った。

最後に、藤原嘉文学校連盟理事長／前日本教育大学協会副会長（山梨大学教育学部附属中学校長）から、閉会の挨拶があった。



出口会長



薄井埼玉大学教育学部長



高田教員養成企画室長



西村附属学校WG座長



吉田大阪大学特任専門職員



藤原学校連盟理事長



会場の様子